

# 海津敦子新聞

徹底的に区民目線の区議会報告

あなたの「今」に間に合うように

～想いをすばやく区政につなげます～

プロフィール ◆ 1961年生れ・共立女子大卒・1983年テレビ朝日入社・1992年退社・フリーで活動・2011年文京区議初当選・著書「先生、親の目線をお願いします」(学研教育出版)他所属委員会 ◆ 文教委員会 / 災害対策調査特別委員会 / 地域包括ケアシステム特別委員会

学校、子育て、介護、ご近所等々、気軽にご相談ください。一人で、家族だけで抱えて悩んでいると迷路へ入ってしまうことがあります。あなたの「今」に間に合うように解決策を共に考えていきます。ご相談に応じ弁護士とも連携します。

海津敦子 区政の相談室

## 予算案を審議します!

### 文京区の財政



# どっち?

文京区の見解 (H30年予算編成方針)

「厳しい財政状況にある」  
今後も社会保障関係経費の増加が続くとともに、区民施設や学校施設の整備等に係る経費も増えることが見込まれ、厳しい財政状況にある。

文京区 監査委員の見解 (H28年度決算審査)

「健全な財政状況にある」  
“經常収支比率の上昇はあるものの、基金や地方債の年度末残高の状況等を考え合わせ、健全な財政状況にあると評価できる。”

厳しい 23.3%

区民の声は… 区の財政状況に対する印象

健全 17.9%

文京区調査H27年12月



海津敦子 の見解

今は、「健全な財政状況」だが、  
今後、「厳しい行財政運営が求められる」…のが実状

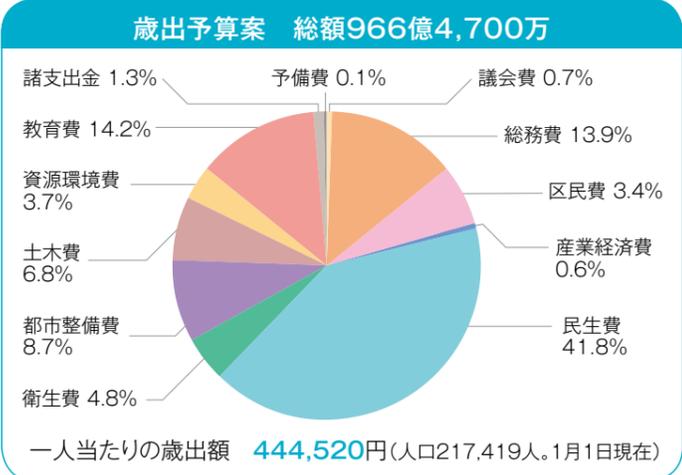
## 平成30年度予算案規模は、初の900億円超え

過去最高額の特別区税収入ではあるけれど

文京区の人口はこの9年で3万人増え、約22万人。納税義務者の増加と共に税収も増加、予算も過去最大の約966億円。しかし、今後は、生産年齢人口(働く世代)の減少で税収も減ると予測されています。一方、待機児童対策等の子育て支援施策の推進、地域ケアシステムの構築、老朽化する公共施設等の大規模改修や更新など、待ったなしの課題は山積で、区民ニーズを的確にとらえ柔軟でスピード感のある対応が必要です。

場当たり的ではない計画を

決算審査意見書では、監査委員から以下のような指摘があります。  
“社会状況の変化や区民ニーズの動向に迅速かつ柔軟に対応しつつ、将来的な人口構成や財政構造など中



長期的な視点に立ち、計画的な財政運営を行う必要がある。  
例えば、新設する保育施設等は、将来的な子ども人口の減少を見据えて、高齢者福祉施設等に用途を転換しやすいように設計する等、

予算審議で きびしいチェックを

「計画的に」行うことが重要です。  
金額の規模もさることながら、その使い方がそが問われます。「任んでいてよかった」とだれもが将来にわたって実感できるような長期的視点での、仕組み、体制作りになっているか? 左記の視点で予算案を審議します。

### 海津敦子の視点

- 欠陥や不備なく制度が機能するか
- 制度のはざまに取りこぼされる人がいないか
- 子どもの貧困による不利益を改善する政策か
- 地域で支えあえるための有効な仕掛けがあるか
- 障害者差別解消法、LGBTガイドライン等に抵触しないか
- だれもが差別感や疎外感を感じることなく利用できるか
- 将来のニーズ変化で柔軟に転換できる設計になっているか



またとない

## まちづくりの大チャンス!!

### 提案 先生と子どもだけの学校から地域住民全体の文化施設へ

区は、地域保健福祉計画で、「地域での支えあいがこれまで以上に求められ不可欠な状況にある」と分析しています。学校は地域住民のもっとも身近な居場所として十分に多様な可能性を持っています。

#### 学校は地域住民の文化施設

例えば、建てなおす学校は、学校図書館、音楽室、家庭科室等を学校が使用しない放課後、休日等に地域住民に開放し、活動の場、居場所とすれば、支えあいの関係づくりに不可欠な出会いを創出する拠点になります。

公共施設等の予算は来年度、約227億円、予算額の約4分の1です。先々の財政縮減を見据えて、より費用対効果が高めることが時代の要請です。公共施設等の老朽化により大規模改修や建て替えの時期にあたる今は、「複合化」により付加価値を高めるまたとない大チャンスです。



### H30 年度予算案事業の抜粋

- 子育て・教育**
  - 子どもの貧困対策(塾代助成・学習支援)
  - 就学援助の拡大(中学校部活動費、PTA会費)
  - 訪問型病児・病後児保育利用料助成の拡充
  - 医療的ケア児のレスパイト
  - 区立保育園で使用済み紙おむつ回収
  - 英語体験学習事業
- 福祉・健康**
  - 地域密着型サービス施設整備促進
  - 介護人材確保・定着等支援
- まちづくり**
  - 無電柱化推進
  - 避難所開設キットの導入
  - 備蓄物資の充実

### 予算委員会日程

3月6、7、9、12、13、14日  
各10時~17時  
シビックセンター24階第1委員会室

ぜひ、ご要望をお聞かせください↓  
メール: atsukok@abelia.ocn.ne.jp  
TEL: 080-3027-2758



審議をチェックしにお越しくささい!

# 教育 教員の専門性を向上し 質の高い授業を

学校教育が試される 子どもの学力保障

子供の貧困対策に関する大綱(厚生労働省)では、「学校を子供の貧困対策のプラットフォームと位置付ける」としており、学校教育による学力保障を第一に掲げています。もちろん、貧困家庭に限らずどの

子どもにとっても必要なこと。でも教員は多忙で研修にも参加できません。

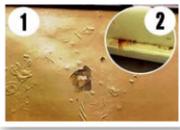
## 教員の働き方改革を

提案1 学校図書館司書を週5日の常勤化に 教材として使える図書や資料な

## ～議会での海津の質問と区長の答弁～

### 抜本修理をせずお化粧直しだけの学校快適化

Q 学校快適化事業について。自宅であれば、雨漏りを修繕せずに室内の壁等の表面的な内装工事を行ったりしない。



しかし、区は、雨漏りの改修を行わずに学校快適化事業を行い、ある小学校は、この夏に壁を塗ってわずか1カ月半で、校内のいたるところでこのような状況。(写真①②) これらを区長としてどのように評価しているか?

A【成澤区長】 工事期間が長期にわたり、各種調整が必要となる外壁改修等に優先して、快適性向上事業を推進してきた。なお、雨漏りが発生した場合には、快適性向上事業の実施校を含め、早急に原因を特定し、適切に対応することで、子どもたちの教育環境を整えていく。

### 海津の考え

雨漏りの外壁改修等の工事と学校快適化工事を同時に行うことは十二分に可能。綺麗になった壁を雨漏りの度に修繕するのは税金の無駄使い。

### 夜間・休日保育ニーズ対応で子育て支援を

Q 夜間保育、休日保育を必要とする家庭がある現状がある。23区中、夜間保育6区、休日保育は13区で実施。子育て支援の観点からもニーズがあり実施が必要。年末保育のような実施方法もある。伺う。

A【成澤区長】 子育て中の保護者の働き方の見直しを含む、ワークライフバランスの確保が重要と考える。キッズルームシビック等、夜間・休日に利用されている。現在、待機児童解消のため、限られた保育士を有効に活用し、認可保育園等の充実を最優先として進めており、保育園において、夜間・休日保育を実施する考えはない。

### 海津の考え

働き方を変えることが難しいからこそ、夜間・休日保育のニーズがある。キッズルームシビック等はあくまでも一時預かり施設。子どもの最善の利益を考えるなら夜間・休日に安全・安心に過ごせる保育園を整備すべき。

引き続きチェックしていきます

## 子育て

# 待機児童問題 後手に回らない施設整備を

春日・後楽園駅前再開発ではファミリー向けに約700世帯が入居するのに対し、区が再開発事業組合に要望したのは、0～5歳の60人定員の認可保育園のみ。学区の児童保育や学校教室への影響の検討も様子見の状態です。



このままでは...

新築マンションの完成で人口が増え、同時に待機児童も増やしてしまうこと。物件が完成してからでは間に合いません。マンションに保育施設の開設や児童保育・学校教室が不足することのないように迅速な整備を要望していきます。

どを集めて教員が授業に使えるようにしたりするサポート機能も、学校図書館司書が本来行うべき重要な役割の一つです。学習指導要領(総則)でも、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童(生徒)の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること」とされています。

## 提案2 子ども・保護者アンケートの外部委託化

文科省の「学校現場における教職員の業務実態の把握」の実態調査によると、「児童・生徒、保護者ア

ンケートの実施・集計業務に小中学校教諭の約7割が負担を感じています。必ずしも教員がやらなくてはならない業務ではなく、教員に読まれることで率直に回答しにくい等、外部に委託する方が良策だと思います。

### 業務の負担感



## 教職員がすべき職務の見直しと分業体制化を!

## 防災

### 水害・ハザードマップを軽く見ている?

柳町小学校の建て替えは、ハザードマップで浸水が想定される一階に職員室を設置する設計。理由は「屋外運動場等の見通しが良く、校内移動に便利な位置が重要」と。職員室は、重要書類やOA機器等が集積され、被災時には避難所の管理運用拠点になる場所です。職員室は2階に変更すべきです。現に区立小学校20校中12校では2階にあります。



### 保育園 1、2歳児が1階に!?

区立保育園はこれまで4、5歳児が主体的に遊びを選べるように1階に保育室を配置してきました。ところが、最近の建替えでは、1、2歳児の保育室を1階に配置するようになり変りました。理由は、水害時にすぐ避難できるからとのこと。しかし、水害時こそ上に逃げる垂直避難が重要です。1、2歳児こそ2階にすべきです。

## 絶対に置き去りにできない「保育の質」

保育園を増やしていく等、受け皿としての「量」の確保の緊急性が叫ばれる中で、絶対に置き去りにしてはいけないのが「保育の質」。その「量」と「質」両方の確保と好循環を生む一手が「保育士の待遇改善」です。待遇改善することによって、質の高い人材を確保し、一人ひとりの子どもと向き合い、手がかけられるゆとり、子ども個々の身体・心理・発達を理解する専門性、適切な判断・対応ができる経験が保育士に蓄積され、結果、保育の質が向上する、という好循環が生まれます。区に待遇改善を要望していきます。

### 保育園の新設で



## 医療的ケア児を「待機」という名の排除

文京区では寝たがりの医療的ケアが必要なお子さんに対して、対応できる保育施設がないことを理由に保育園の入園を断っています。しかも、建て替えをする保育園に、医療的ケア児も入園できるように設計変更すればできるのに区は頑なに「行いません」。理由は、「今更設計変更はできない」だそうです。保育園や幼稚園、学校は、保護者

と違い、勤務時間内で、看護師や保育士等の医療・福祉・教育がチームになって子どもと関わることができません。医療的ケア児も、様々な子ども、大人と出会い、育つために施設のハード面を整備すべきです。保育園・幼稚園、学校の場合から、医療的ケアが必要であるという理由で排除することは、行政による「差別」です。誰も排除しない社会をめざすためにも、医療的ケア児も当たり前に入園できるように環境整備を求めていきます。

## 在宅医療・介護は家族ケアが前提!

政府は住み慣れた自宅での「みとり」を後押しする方針。文京区内で要介護・要支援を受けている65歳以上の人は「終末期を迎える場所」の希望は48.6%が「自宅」。次ぐ「病院」19.6%と大きく差があります(平成28年度高齢者等実態調査)。

## 地域社会で支え合える仕組みを

「人生の最後を希望通りに過ごしたい」それは誰もが願っているのではないでしょうか。しかし、希望を叶えるた

めの制度も、「家族で支える」ケアが前提では、単身や夫婦だけの高齢者世帯の増加から成り立たなくなります。まして、介護できる家族がいても、介護離職、介護の孤独、介護うつ、等々の問題もあり、介護する側が自分の人生で何かをあきらめたり犠牲になることなく生きがいを感じられるような社会の支えが必要で。自宅で最期を迎えたいという根強い希望を支えるためには、公的な医療・介護サービスが連携を強化し、一体となって地域社会で介護する制度、仕組みづくりを文京区でも取り組んでいきます。

## 高齢者